

	学園創立者 鈴木修学のあゆみ			社会の動き
※()内西暦				
明治	35年(1902)	1月5日 0歳	愛知県丹羽郡秋津村大字寄木(現・江南市寄木町)に、父鈴木徳太郎・母さわのの長男として出生。修一郎と名付けられる。	1月30日 日英同盟成立
	37年(1904)			2月10日 日露戦争勃発
	41年(1908)	4月 7歳	布袋尋常高等小学校入学	9月10日 内務省地方局主催の感化救済事業講習会開催(感化事業に携わる職員の資質の向上を図る目的)
	42年(1909)	1月 8歳	始祖・廣宣院殿安立大法尼(杉山辰子先生)、仏教感化救済会を設立。	4月1日 「編子防二閘スル法律」施行(全国五か所に府県連合療養所開所)
大正	3年(1914)			8月23日 第一次世界大戦に参戦
	5年(1916)	3月 15歳	布袋尋常高等小学校高等科卒業	
	12年(1923)			9月1日 関東大震災
	13年(1924)		23歳 仏教感化救済会会長・安立大法尼より教えを受け、入信。	
	14年(1925)			4月22日 「治安維持法」公布
	2年(1927)		26歳 仏教感化救済会入会	金融恐慌始まる
	3年(1928)	6月 27歳	安立大法尼の養女、みつと結婚。福岡・生の松原のハンセン病療養院主任として赴任。	
	4年(1929)		28歳 仏教修養団(後、仏教感化修養団～仏教樹徳修養団～大乘修養団)が結成され、幹事長に就任。	4月2日 「救護法」公布 10月24日 米株式市場暴落、世界恐慌に拡大。
	5年(1930)	12月 29歳	生の松原のハンセン病療養院引揚局名後、臥竜山農場にて不良少年の教護指導	
	6年(1931)			9月8日 満州事変勃発
	7年(1932)		31歳 社会事業施設・千種寮開設被虐待児童及び軽度のハンセン病患者を収容。	5月15日 5.15事件
	8年(1933)			3月27日 国際連盟脱退 4月1日 「児童虐待防止法」公布
	9年(1934)	6月1日 33歳 11月	(財)大乘報恩会設立、常務理事に就任、仏教感化救済会の事業を継承 市外猪高村藤森に児童養護施設・明德寮開設	
	11年(1936)		35歳 本部事務所を所在地・駒方町に移転。千種寮と大徳寮を併合、児童養護施設・駒方寮開設。	2月6日 226事件 11月4日 「方面委員令」公布
	12年(1937)	9月5日 36歳	駒方保育園開設	7月7日 日中戦争勃発
	13年(1938)	2月1日 37歳 5月14日	愛知県社会教育委員に就任 駒方診療所開設	1月11日 厚生省設置 4月1日 「社会事業法」公布
14年(1939)			4月1日 宗教団体法制定 9月1日 第二次世界大戦勃発	
15年(1940)			9月27日 日・独・伊、三国同盟締結。 10月12日 大政翼賛会結成	
16年(1941)	4月10日 40歳	愛知県方面委員に就任	12月8日 太平洋戦争勃発	
17年(1942)	1月18日 41歳	台湾開拓移民団派遣に先立ち、準備のため渡台。		
18年(1943)	4月15日 42歳	宗教団体法違反容疑により特高警察に勾引され、以後58日間拘留される。大乘報恩会は宗教活動の禁止、各地支部の閉鎖、名称変更、理事長以下全員・理事の更迭命令を受け、財団法人昭徳会と改称 坂井徳太郎陸軍中將を理事長に迎え、社会事業活動の存続を図る。		
20年(1945)		44歳 終戦。戦災孤児・浮浪児が巷に溢れる。順次駒方寮に収容・養育に尽す。	8月15日 天皇陛下、戦争終結の詔書を放送(玉音放送)。 8月28日 連合国軍総司令部(GHQ)設置 12月28日 「宗教法人令」公布(宗教団体法廃止)	
21年(1946)	4月1日 45歳 11月10日 12月1日	明治24年以来「仏教慈悲会」によって運営されてきた児童養護施設・名古屋養育院の事業を継承 日蓮宗に加入し、得度。修学と改名。泰山院日蓮と号す。 愛知県民生委員常務委員に就任	1月1日 天皇陛下、人間宣言 6月21日 ララ(アジア救護公認団体)物資援助始まる 7月1日 国号の呼称を「日本国」と決定 9月9日 「生活保護法」公布 9月13日 「民生委員例」公布 9月19日 厚生事務次官、主要地方浮浪児等保護要綱を七都府県知事に通知(一斉発見、収容保護所の設置) 11月3日 「日本国憲法」(新憲法)公布	
22年(1947)	10月21日 46歳	愛知県社会事業協合理事に就任	1月20日 学校給食始まる 3月31日 「教育基本法・学校教育法」公布(6・3・3・4制男女共学を規定) 4月1日 新学制による小・中学校発足、日本社会事業協会設立 12月12日 「児童福祉法」公布	
23年(1948)	4月1日 47歳	日本社会事業協会協議員、愛知県保育事業協会副会長、名古屋保育事業協会副会長に、それぞれ就任。	4月1日 新制高校・新制大学12校発足。6・3・3・4制の新教育制度が成立。 7月29日 「民生委員法」公布・施行(民生委員令廃止)	
24年(1949)	4月 48歳 5月25日 5月27日 8月1日 11月8日	全国社会事業協会協議員に就任 第三回全国児童福祉大会(横浜市)に出席 昭和12年以来、名古屋大学医学部教授・杉田直樹博士により運営されてきた精神薄弱児(知的障害児)施設・八事少年寮の事業を継承(現・小原学園)。 全国社会事業大会で表彰され、両陛下に拝謁。	10月18日 警視庁、少年ヒロポン患者の取締りを命令(ヒロポン禍、問題化)。 12月26日 「身体障害者福祉法」公布	
25年(1950)	4月1日 49歳 7月20日 11月1日	愛知県安城市に光徳寺保育園開設 昭徳教会が大乗山法音寺と寺号を公称 身延山大修行第初行入行	5月4日 「生活保護法」公布・施行 6月25日 朝鮮戦争勃発 この年、特需景気。平均寿命、初めて60歳を超える(男58.0歳、女61.5歳)。	
26年(1951)	2月10日 50歳	大修行第初行成満、修法師となる。	1月11日 中央社会福祉協議会設立(後の全国社会福祉協議会) 3月29日 「社会福祉事業法」公布 5月5日 児童憲章成立	
27年(1952)	6月1日 51歳 10月1日 11月1日	社会福祉事業法の施行に伴い、財団法人昭徳会を社会福祉法人に改組。 司法保護施設・光明寮開設(現・小原学園) 身延山大修行第再行入行	3月31日 ララ物資援助終了 4月28日 対日平和・日米安保二条約発効、日本独立。 7月31日 保安庁、警察予備隊、海上警備隊を改組。 11月1日 市町村教育委員会発足	
28年(1953)	1月 52歳 2月10日 4月20日 5月28日 8月13日	学校法人法音寺学園設立 大修行第再行成満 中部社会事業短期大学第一回入学式挙行 愛知県社会福祉協議会監事並びに、児童福祉委員会収容施設部会長に就任 法音寺、宗教法人に改組。	2月1日 NHKテレビ放送開始 12月25日 奄美群島返還	
29年(1954)	11月1日 53歳	身延山大修行第再行入行	3月1日 ビキニの水爆実験で第五福龍丸被災 7月1日 防衛庁・自衛隊発足	
30年(1955)	2月10日 54歳 3月28日	大修行第再行成満 中部社会事業短期大学第一回卒業式挙行	2月 厚生行政基礎調査により、全国の貧困者が1100万人と発表される。	
31年(1956)	5月28日 55歳	愛知県社会福祉協議会理事に就任	7月17日 経済企画庁「経済白書」を発表(「もはや戦後ではない」というフレーズが流行)。 12月18日 国際連合加盟	
32年(1957)	4月 56歳	中部社会事業短期大学を四年制の日本福祉大学に改組	この年、なべ底不況始まる(～33年末)。	
33年(1958)	4月1日 57歳	日本福祉大学付属立花高等学校開校		
34年(1959)	4月1日 58歳	法音寺学園・橋料理学校開設	4月16日 「国民年金法」公布(国民皆年金体制の発足) 9月26日 伊勢湾台風 この年、岩戸景気にわく。	
35年(1960)	8月23日 59歳 8月25日 11月10日	日蓮宗保育講習会開催 厚生大臣表彰	3月31日 「精神薄弱者福祉法」公布 9月10日 カラーテレビ放送開始 この年、電気冷蔵庫普及、3種の神器(テレビ・電気洗濯機・電気冷蔵庫)流行。 即席ラーメン、インスタントコーヒーなどのインスタント時代到来	
36年(1961)	4月1日 60歳 10月13日	日本福祉大学女子短期大学部開設 藍綬褒章受章	11月14日 厚生省、昭和35年簡易生命表を公表(男65.37歳、女70.26歳で女子平均寿命が初めて70歳を超える)。	
37年(1962)	5月21日 61歳 6月7日 6月15日	NHKテレビに出演 還化 本葬。日蓮宗・大僧正位追贈 正六位勲五等瑞宝章追叙	2月 東京、世界初の一千万人都市に。	